



私たちの節電シンボルは、美しいブルーのパネル

区立さくら小学校

2011年1月11日に、区立さくら小学校の屋上に設置された太陽光発電パネルが、発電を開始しました。屋上に上がると総数56枚の壮大なパネルが、美しいブルーに輝いています。最大約10キロワットの発電が可能で、1時間の発電量は、教室の40ワット蛍光灯20本を約12時間点灯することができる電力量です。

この太陽光発電パネルは、アサヒビール株式会社より寄贈されたものです。その贈呈式では、6年生の児童代表が、「日本がたくさんのCO₂を排出してきたことを知り、嫌な気持ちになりました。でも、この技術を生かしていけば、抑えることができると明るい気持ちになりました」と立派な感謝の言葉を述べました。

10月12日には6年生を対象に、寄贈元のアサヒビール社とパネルの製造元であるシャープ社の両社による「太陽と一緒に地球温暖化をふせごう～森と太陽の教室～」が行われました。学校の屋上にある太陽光発電パネルを例にした、CO₂を出さない自然エネルギーの利用や、CO₂を吸収してくれる森の役割について学びました。

授業後の感想には、「地球が危ないということが分かった」「家で海、森、太陽の大切さの話をした」などがありました。

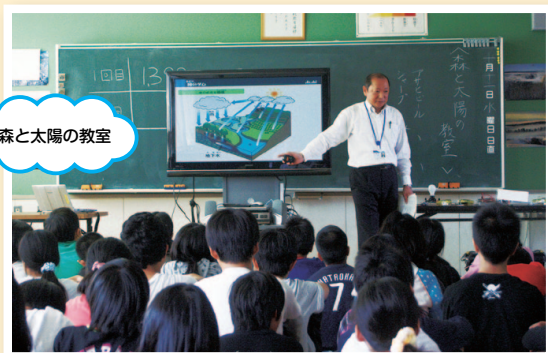


子どもたちはこの授業を通じて、屋上の太陽光発電だけでなく、地球上のあらゆるもののつながりを理解し、自然を守るために自分たちが実際に行動していく決意をあらたにしました。

また、昨年の震災後さくら小学校では、夏に「今すぐできるボランティア」として全校で「誰もいない教室の電気を消す」「エアコンではなく扇風機を使う」といった節電に取り組みました。

「森と太陽の教室」や節電を通じて、小学校の屋上の太陽光発電が節電につながる事が分かりました。今では、太陽光発電パネルが子どもたちの節電シンボルになっています。

さくら小ホームページ http://www.toshima.ne.jp/~sakura_e/



森と太陽の教室

「エコのわ」は、区民のみなさんと制作しています！

● 榎野光路さんと菊池泰子さんに参画していただきました。

地域・都市づくり
サステイナブルデザイン
環境システム計画
環境エンジニアリング
国際環境政策
海外環境事業



サステイナブル・ソサエティ
豊島区から世界を持続型社会にしてゆく会社



株式会社 エックス都市研究所

EX Research Institute Ltd.
Environmental and Regional Planning, Research and Consulting

〒171-0033 東京都豊島区高田二丁目17番22号 目白中野ビル6階
TEL 03-5956-7500 FAX 03-5956-7520 <http://www.exri.co.jp>

●●●ご意見・ご感想をお待ちしています●●●

住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記のうえ、はがき、メール、FAXのいずれかで「取り上げて欲しい内容、また、エコに関する情報」など環境政策課までお寄せください。

宛先：豊島区清掃環境部環境政策課
住所：〒170-8422 豊島区東池袋 1-18-1
FAX：03-3981-6207
メール：A0029180@city.toshima.lg.jp

